

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 24 日 (2015.9.24)

【公開番号】特開 2014-37644 (P2014-37644A)

【公開日】平成 26 年 2 月 27 日 (2014.2.27)

【年通号数】公開・登録公報 2014-011

【出願番号】特願 2012-180299 (P2012-180299)

【国際特許分類】

D 0 1 F 8/14 (2006.01)

D 0 4 H 1/541 (2012.01)

D 0 4 H 1/435 (2012.01)

【F I】

D 0 1 F 8/14 B

D 0 4 H 1/541

D 0 4 H 1/435

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 8 月 7 日 (2015.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

湿式不織布に用いられるショートカット繊維であり、該繊維は機械捲縮が付与されてなく、粘度の異なる 2 種のポリエチレンテレフタレートによって構成された芯鞘複合型の断面形状を有し、芯部に高粘度ポリエチレンテレフタレート、鞘部に低粘度ポリエチレンテレフタレートが配され、高粘度ポリエチレンテレフタレートと低粘度ポリエチレンテレフタレートの極限粘度差が 0.05 ~ 0.13 であり、芯部と鞘部の複合比率が 20 : 80 ~ 80 : 20 であることを特徴とする湿式不織布用ショートカット繊維。

【請求項 2】

ショートカット繊維の強度が 3 ~ 8 cN / d t e x、伸度が 25 ~ 100 %であることを特徴とする請求項 1 記載の湿式不織布用ショートカット繊維。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の湿式不織布用ショートカット繊維によって構成される湿式不織布。

【請求項 4】

請求項 1 または 2 記載の湿式不織布用ショートカット繊維を用いて、湿式抄造後、熱と圧力を付与することにより繊維同士を一体化することを特徴とする湿式不織布の製造方法。